

# 庁議の概要

開催日 平成 22 年 4 月 2 日 (金)

## ◎項 目

- 1 各部局における今年度の取り組み方針・抱負について【各部局等】
- 2 各部局等の動向について【各部局等】

## ◎内 容

(知事)

- ・特に部局長には3点申し上げておきたいことがある。
- ・第1はコンプライアンスについて。仕事のスピードが上がれば上がるほど量が増えれば増えるほどコンプライアンスが重要だということを従前以上に意識していただきたい。量が増え、スピードが上がれば仕事の質が粗くなるので、それを防ぐための最大の安全装置は上司が部下の仕事状況を細部に至るまで把握することである。関連して、特に総務部、監査委員事務局、会計管理局においてはチェック、コンプライアンス遵守を是非ともお願いしたい。迷う事例があった時は出来るだけ速やかに私と副知事にあげてほしい。
- ・第2は、官民協働型の県政においては、従前であれば行政マターであったことが、政治課題化しかねないことがたくさんあることを意識してほしい。そういう課題についても私と副知事に速やかにあげていただきたい。特に予算編成過程の中でも政治課題化しそうなものは必ずあげていただきたい。
- ・第3は、広報ツールを昨年から大幅に充実させてきたところだが、何をいつまでにどのような媒体で広報しておかなければならないのか、という戦略的な広報を意識してもらいたい。今年1年その洗い出しをしていく。広報の枠があるので何かで埋めようという漫然とした広報をしないように。

### 1・2 各部局における今年度の取り組み方針・抱負及び動向について【各部局等】

各部局毎に今年度の取り組み方針等と併せて、総務部が取りまとめた各部局の今週の動きに関する資料を配布の上、概要説明を行った。

- ・国と地方のあり方が大きく変わるかもしれない年。各種知事会PTや国と地方の協議の場などを活用して、高知県のスタンスをはっきりさせて、いかに発展できるか申し入れていくことが必要だと思っている。総務部としては人的、財政的なバックアップをしていける体制と心構えがあるのでよろしくをお願いしたい。(総務部)
- ・県民が安全・安心に暮らせる社会づくりを基本方針として取り組む。特に全庁的な危機管理体制の構築と、減災を目指した南海大地震対策の着実な推進、地域における消防力・防災力の向上、防災力の利活用的高度化の4点を柱として取り組んでいきたい。また、市町村との連携の強化に力を入れていきたい。(危機管理部)
- ・日本一の健康長寿県構想と併せて挑戦の年ということで精力的に取り組んでいきたい。特に保健分野において市町村が十分動けていない実態があるので、市町村が保健に取り組むことができる体制づくりをテーマとして取り組んでいきたい。(健康政策部)
- ・日本一の健康長寿県構想の具体化に取り組む。特に高知型福祉の推進ということで、縦割りの制度を超えた新たな小規模多機能の共生型サービスの仕組みについて国へ提案できるようにまとめたい。また、中山間地域で必要なサービスが必要な人に行き届くような仕組みを考えて提案をしていきたい。

障害保健福祉課に重度の肢体不自由の方が採用になった。電動車いすを使用しているので県庁各課室の中でも彼が支障なく動けるようなご配慮をいただきたい。(地域福祉部)

・新たにまんが・コンテンツ課を設置した。また、産業振興推進本部の一員となった。一段と業務の幅が広がったので、これを土台に産業振興のリングを広げていきたい。部のほとんどの業務が各部と協働してはじめて進む業務ばかりであるので、これまで以上に各部と協力していける関係をつくっていきたいのでよろしくお願ひしたい。(文化生活部)

・具体的な成果が求められる1年になる。5つの改定を着実に実行していく中で、特に人材育成が重要であると考えてるので力を入れていきたい。また、成果の示し方に工夫が必要と考えている。特にアンテナショップについては設置する目的を忘れず、ぶれずに取り組んでいきたい。各部局長も東京に出張に行った際は是非アンテナショップに寄っていただき、その都度感想をいただければ。また、応援団などの人脈づくりにも取り組んでいきたい。(産業振興推進部)

・県職員が率先して通勤や出張に是非公共交通を活用していただきたい。またエコ通勤にも十分にご協力いただきたい。特に、中村、宿毛、安芸、奈半利に公用車を配置し、出張の折には利用していただいているが、稼働率が低いので是非活用していただきたい。(理事(交通運輸政策担当))

・守りと攻め、特に守りが大きくなる1年になる。守りの部分としては、(太平洋セメントなどの例を挙げて)地方の産業の火を絶やさないとこの部分に十分力を入れていかなければならないし、アンテナも高く立てていかなければならないと思う。攻めの部分としては、成長分野の4つの企業研究会の成果を上げていくこと。成果を出していくことで周りのやる気にもつながり、ついていこうということになる。産業振興センターとも連携して、いろんな事業を支援していきたい。(商工労働部)

・今年は「土佐・龍馬であい博」を成功させて、成長戦略の400万人観光育成産業の達成をしていきたい。併せてポスト「龍馬博」の取り組みとその具体化のとりまとめをスケジュール感をもって進めていきたい。(観光振興部)

・産業振興計画を着実に推進するということにつけるが、産業として農業をどう確立していくかということと併せて地域社会と他の産業に貢献できる農業を提供していく取り組みを進めていく。(農業振興部)

・産業振興計画を着実に推進する。特に国で森林・林業再生プランが具体化されるので、アンテナを高くして情報を掴み、ものによっては産業振興計画に追加するなどしていきたい。また、環境基本計画を着実に推進していく。今年度は地球温暖化計画の三次計画を作る予定であり、文化生活部の新エネルギービジョンや地球温暖化対策の基本法案についてアンテナを高くしてこの計画に生かしていきたい。森林整備公社の改革プランの策定に取り組む。(林業振興・環境部)

・産業振興計画の着実な実行、特に加工と養殖を加速化させたい。去年1年日が当たっていなかったものに目を当ててどんな行政ニーズがあるかなどを調査をしていく。また、平成23年4月から県漁連が経済活動を止めて指導漁連になることで色々な課題があるが、円滑に移行できるよう取り組んでいきたい。(水産振興部)

・整備に対する国の考え方が大きく動いているので、国に対して様々な提案・要望をしながら、これ以上整備が遅れることのないように取り組んでいきたい。また、建設50年を経過した施設について一定の手入れをしなければならない時期に来ているので、ほぼ全ての施設において取り組んでいく。また、工事入札の事後公表の拡大を予定しており、さらなる法令遵守の徹底のため、職員の研修の充実を図るなど、コンプライアンスを重視していきたい。(土木部)

・会計事務の適正実行を図ることで県政運営の下支えをする。本年度はそのための体制が整ったので、より積極的に取り組んでいきたい。また、職員が地域へ出て行き、出先所属長等の会計支援を重点目

標としている。特に出先機関所属長の協力が必要なのでよろしくお願ひしたい。(会計管理局)

・経営の健全の維持も必要だが、今年は殻を破って産業振興計画の下支えになり、新しい事業にもチャレンジしていきたい。産業振興推進本部の一員となり、私自身のアンテナも高くしていくが、各部署と連携もしながら取り組みたい。(公営企業局)

・トップスピードで走る年度、1つ1つの取り組みが着実に成果につながっているかどうかの徹底的な詰めをする年にしたい。(教育委員会)

・交通事故死亡者の減や少年の犯罪率低下について今年の問題に掲げている。防犯防災についても関係する自治体や住民等と連携しての仕組みづくりについても考えるように今年も取り組んでまいりたい。(警察本部)

・監査がいい仕事をすれば、職員の育成や、これからの仕事を進めていくうえでも役立っていくようになれると思うし、またそういう監査でないといけないと思っている。(監査委員事務局)

・新しい理事を迎え、より一層の情報収集、政策提言の持ち込みに努めたい。また、地産外商公社と連携をとりながらアンテナショップ等の取り組みに努めていきたい。ふるさと応援団についても、工夫して増やしていきたいと考えている。(東京事務所)

・国、全国の動きを的確に掴み、戦略を立てて政策提言活動を行っていき、県政のステップアップにつなげていきたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。(理事(東京事務所担当))

・今まで以上に企業から信頼される相談機関となるように頑張りたい。また、県の産業振興計画の推進のために積極的に行動していきたい。産業振興推進部や商工労働部と密接に連携しながら企業支援に取り組んでいきたい。(産業振興センター)

(知事)

新エネルギービジョンが中山間の暮らしを向上させる特効薬になるという期待、さらには産業基盤の向上、素晴らしいベースを作ってくれるんじゃないかという期待があり、しっかりと作り上げていきたいと思うので、全庁あげてのご協力をお願ひしたい。産業振興計画の次期改定の大目玉となればいいと思っている。